



小矢部市

議会だより

平成 29 年 11 月 発行

No.187

発行 / 小矢部市議会

編集 / 議会だより編集委員会

電話 (0766)67-1760 (内線 322)

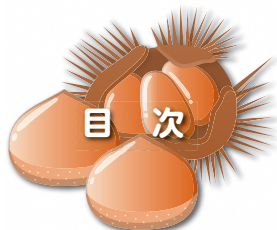
FAX (0766)68-0194

地域の安全 アーチでつなぐ

9月24日、西中野地内で富山県消防協会小矢部支部秋季消防訓練が実施されました。消防団は日夜、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っています。



(写真：火災を想定した放水訓練が行われました)



補正予算の概要	2	議会事務事業評価	12
人事案件・審議経過等	2	委員会報告・議長交際費	13
議員別賛否状況	3	次回議会日程	13
議員構成	4	閉会中委員会開催状況	14
代表・一般質問	5~10	会務報告	15~16
市外からの行政視察等	10	編集後記	16
意見書	11		

一般会計補正予算・条例廃止など

10議案を議決しました

9月5日から22日までの18日間を会期として9月定例会を開会しました。9月定例会では、市長から平成29年度小矢部市一般会計補正予算、条例の廃止、人事案件など議案8件、議員から議員提出議案2件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意等しました。なお、平成28年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分及び平成28年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など9議案については、新たに設置した決算特別委員会にて12月まで継続審査とすることになりました。

その他、健全化判断比率など報告2件を受けたほか、請願1件と陳情2件を処理し、議員派遣を可決しました。

◎ 9月補正予算の概要

議案第29号 平成29年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）
補正額 3億1,354.3万円 累計予算額 154億2,300.1万円

＜主な事業＞

- 文化財保護費 400万円
御坊町の山蔵の移転建築に係る助成を行うもの
- 小学校管理運営費 100万円
津沢小学校の備品の整備を行うもの（寄附金を活用）
- 中学校管理運営費 870万円
津沢中学校の備品の整備及び石動中学校の設備の改修を行うもの（一部寄附金を活用）
- 現年農地農業用施設災害復旧事業費 4,035.2万円
豪雨災害等により被災した農地・農業用施設を復旧するための増額
- 財政調整基金積立金 2億2,000万円

議案第30号 平成29年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 28.5万円 累計予算額 1億4,878.5万円

＜主な内容＞

決算の確定に伴う一般会計繰出金の増額

議案第31号 平成29年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

補正額 1億2,943.5万円 累計予算額 34億6,054.5万円

＜主な内容＞

決算の確定に伴う前期高齢者納付金、償還金と財政調整基金積立金の増額

議案第32号 平成29年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 134万円 累計予算額 8億8,084万円

＜主な内容＞

決算の確定に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額

※補正予算の詳細は、市ホームページの財政課予算情報ページをご覧ください。

特別委員会の設置

特定の付議事件を審査又は調査するため、次の特別委員会を設置しました。

決算特別委員会

平成28年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など9議案を審査するため設置しました。（委員13名）

人事案件

◎小矢部市公平委員会委員の選任同意

水高 英昭 氏（水落）

◎小矢部市固定資産評価委員会委員の選任同意

坂田 行弘 氏（八和町）

◎人権擁護委員の候補者の推薦

澁谷 幸子 氏（西中野）

9月定例会の審議経過

（会期18日間）

5日 本会議

7日 本会議（提案理由説明）

全員協議会

8日 議案調査日

11日 議案調査日

12日 議案調査日

13日 議会運営委員会

14日 本会議（代表・一般質問）

15日 民生文教常任委員会

19日 公共施設再編特別委員会

産業建設常任委員会

交通対策特別委員会

20日 総務常任委員会

決算特別委員会

21日 議会改革協議会

議案調査日

22日 議会運営委員会

委員長会議

全員協議会

本会議

（質疑・討論・表決他）

9月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)	議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作
		補正予算	議案第29号 平成29年度小矢部市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	議案第30号 平成29年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	議案第31号 平成29年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	議案第32号 平成29年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
条例の廃止	議案第33号 小矢部市幼稚園条例の廃止について ・平成30年4月に石動幼稚園が石動さらりこども園に統合されることから、石動幼稚園の設置について定めた小矢部市幼稚園条例を廃止するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は表決に 加わりません	○	○	○
人事	同意第23号 小矢部市公平委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	同意第24号 小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について (人事案件の概要は2ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
請願	請願第1号 「日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書」請願 請願者 小矢部平和委員会 代表 堀内喜亨 (紹介議員 砂田喜昭)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	○	×
議員提出議案第3号	道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の高上げ措置の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○
議員提出議案第4号	参議院議員選挙の合区の解消を求める意見書 (意見書の内容は11ページを参照ください。)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○

■ 陳情の処理状況

陳情	陳情第2号	上下水道工事にに関する陳情書 陳情者 鴨島区長 森川修	保留
	陳情第3号	第7期砺波地方介護保険事業計画における陳情について 陳情者 社会福祉法人小矢部福祉会 理事長 西川康夫	採択

9月定例会で報告された事項

財政状況	報告第3号	健全化判断比率の報告
	報告第4号	資金不足比率の報告

9月定例会で継続審査とされた議案

その他	議案第34号	平成28年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について ・地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定により、剰余金の処分を行うもの。
決算認定	認定第1号	平成28年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
	認定第2号	平成28年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
	認定第3号	平成28年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
	認定第4号	平成28年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
	認定第5号	平成28年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
	認定第6号	平成28年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
	認定第7号	平成28年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算
	認定第8号	平成28年度小矢部市水道事業会計決算

議 会 議 員 構 成

議 長	なかにし 中西 正史	副 議 長	なかだ 中田 正樹
総務常任委員会委員	委員長 吉田康弘 委員 石田義弘	副委員長 中野留美子 嶋田幸恵	中野留美子 宮西佐作
民生文教常任委員会委員	委員長 藤本雅明 委員 中田正樹	副委員長 加藤幸雄 沼田信良	加藤幸雄 尾山喜次 砂田喜昭
産業建設常任委員会委員	委員長 義浦英昭 委員 白井 中	副委員長 山室秀隆 福島正力	山室秀隆 中西正史
議会運営委員会委員	委員長 沼田信良 委員 義浦英昭	副委員長 福島正力 吉田康弘	福島正力 藤本雅明 石田義弘
公共施設再編特別委員会委員	委員長 石田義弘 委員 中野留美子 砂田喜昭	副委員長 福島正力 加藤幸雄	福島正力 藤本雅明 中田正樹 嶋田幸恵
交通対策特別委員会委員	委員長 沼田信良 委員 山室秀隆	副委員長 吉田康弘 義浦英昭	吉田康弘 白井 中 尾山喜次 宮西佐作
決算特別委員会委員	委員長 尾山喜次 委員 中野留美子 白井 中 宮西佐作	副委員長 藤本雅明 山室秀隆 福島正力	藤本雅明 加藤幸雄 嶋田幸恵 義浦英昭 沼田信良 砂田喜昭
議会だより編集委員会委員	委員 義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明 中田正樹

議 会 選 出 委 員 等

監 査 委 員	石田義弘
小矢部川中流水害予防組合議会議員	加藤幸雄 白井 中 宮西佐作
砺波地方衛生施設組合議会議員	吉田康弘 白井 中 石田義弘
砺波地方介護保険組合議会議員	吉田康弘 中田正樹 嶋田幸恵 宮西佐作
砺波地域消防組合議会議員	義浦英昭 藤本雅明 石田義弘 中西正史
高岡地区広域圏事務組合議会議員	藤本雅明 福島正力 沼田信良
民生委員推薦会委員	藤本雅明 中田正樹
国民健康保険運営協議会委員	白井 中 石田義弘 砂田喜昭
上水道審議会委員	中野留美子 福島正力 沼田信良
市勢総合計画審議会委員	義浦英昭 吉田康弘 藤本雅明 中田正樹 中西正史
公害対策審議会委員	山室秀隆 吉田康弘 尾山喜次
都市計画審議会委員	山室秀隆 吉田康弘 藤本雅明 白井 中 尾山喜次
交通安全対策協議会委員	中田正樹
ケーブルテレビ放送番組審議会委員	中西正史
寿永荘運営委員会委員	義浦英昭 吉田康弘 藤本雅明
小矢部市土地開発公社理事	中野留美子 白井 中 砂田喜昭
公益財団法人クロスランドおやべ理事	山室秀隆 加藤幸雄 宮西佐作

平成 29 年 9 月 14 日現在



沼田 信良 議員
会派「誠流」
ぬまだ のぶよし

- ◎能越自動車道について
- ◎旧中小企業大学校候補地跡地の活用について
- ◎市民の健康寿命について
- ◎アウトレットパーク北陸小矢部の効果と買い物弱者対策について

◎能越自動車道について

質問 能越自動車道利便性向上対策検討会では、福岡本線料金所を撤去して、小矢部東本線料金所に統合する基本方針をまとめられたが、この件について進捗状況と今後の市の方針について問う。

市長 これまで、福岡本線料金所を撤去し、小矢部砺波JCTから高岡IC間の全区間均一料金となる料金所統合案を採用することなどが決定した。

小矢部東本線料金所の料金引き上げにより、不公平感が生じる利用者も出てくることから、値上げ幅の縮小と、料金引き上げの影響を強く受ける利用者に対しての緩和策を設けてもらうことを要望している。また、高岡名古屋間を往復するバスを維持し、市民の利便性を確保するためにも、バスの通行料金据え置きを要望している。国による一元的な管理についても、引き続き要望していきたい。

◎旧中小企業大学校候補地跡地の活用について

質問 昨年の3月に、中小企業

大学の施設は行わないことが決定され、現在、取得したその跡地に関して企業誘致等を行っているところであるが、今後の方針について問う。

市長 富山県の協力と支援が不可欠であり、①旧候補地に企業や公的機関を誘致するための継続的な協力、②必要な県道・市道等のインフラ整備に対する総合的な支援について要望を行っている。旧候補地は小矢部ICにも近く、新たな産業用地の有望な候補地の一つであるため、現在、適地調査を行っているところである。整備には多額の費用を要することから、第7次総合計画において整備計画を位置づけ、計画的に進めていきたいと考えている。

◎市民の健康寿命について

質問 三重県いなべ市では、途切れない介護予防システムを行っており、健康寿命の延伸に努め、富山県と比べても、健康寿命が長かった。本市の健康寿命はどうであるか。

また、健康寿命を延伸するための方法について、当局の見解

を問う。

市長 市町村別に示された健康寿命のデータはないが、本年度、近隣自治体と同様の算定方法を用いて、本市の健康寿命について示す予定としている。

また、健康おやべプラン21や第6期高齢者保健福祉計画に基づき、健康づくり事業及び介護予防事業に取り組んでおり、加えて、孫とおでかけ支援事業、後期高齢者の市営バス利用料金無料化制度などを通じて、高齢者の方々が安心して楽しく外出できる仕組みづくりにより、高齢者の社会参加機会の創出を図りたいと考えている。

◎アウトレットパーク北陸小矢部の効果と買い物弱者対策について

質問 アウトレットパーク北陸小矢部が開業し、開業1年で推計約60万人の来場者があったが、2年目の推計来場者はどうであったか。

また、アウトレット開業効果として、市内に1%の誘客を予定していたが、2年経過した現在の状況について問う。

また、まちなかに賑わいのための今後の取り組みについて問う。

加えて、買い物弱者の増加は本市の大きな問題であるが、今後の対策について問う。

市長 市が独自に推計した来場者数は40万人を優に超えるという推測しており、①住みよさランキングの上昇、②市内での雇用創出、③交流人口の増加、④地域連携事業による市内企業への波及効果、⑤固定資産税収入の増の効果がもたらされた。

また、市内へ誘客は0.5%にとどまり、引き続き各種事業を継続したいと考えている。

また、移動スーパー「とくし丸」の営業がスタートしており、引き続き、買い物に不便を感じている地区へのスーパー誘致や移動手段の確保に努めたい。



移動スーパー「とくし丸」

代表・一般質問の詳細については市議会ホームページで公開している会議録をご覧ください。(9月定例会分は12月上旬更新予定)



◎健康長寿の対策と取り組みについて
◎今治タオルのブランド戦略から学ぶこと



白井 中 議員

質問 各地区の社会福祉協議会では、いきいきサロンを開催するなど健康寿命の延伸に非常に有効な取り組みをしているが、これにインセンティブを付与する等、奨励することはできないか。

また、アウトレットモール等で「小矢部版いきいき100歳プラスワン体操」を行えば、高齢者の誘客にも繋がり、一石二鳥だと考えるが、当局の見解を問う。

民生部長 表彰事業や奨励制度は、活動意欲の向上に結びつき、地域の健康増進等に寄与すると考えられ、今後、市社会福祉協議会等と連携し、研究したい。

また、「小矢部版いきいき100歳プラスワン体操」については、身近な集会所等から取り組みを始め、全市民的に普及させたいと考えているため、体操の成果を検証する中で、この件について改めて検討したい。

質問 富山県は、県民運動として健康寿命日本一の取り組みをしているが、本市もこれに倣ってはどうか。

民生部長 本市もいつまでも健康で生き生きと暮らし続けることができる地域づくりを目指すとともに、県との連携を図りながら、健康寿命日本一を目標として各種施策に取り組みたい。

質問 起業家が一人でも多く進出しやすいように、環境を整備することが重要であるが、そのシステムの構築と支援の方策についてどのように考えているか。

企画政策部長 中小企業に対する多くの支援制度があり、これらの情報を市内企業に提供し、成長に役立ててもらうことが行政の役割であると考えており、新規事業の創出等を考えている企業の動向を把握するとともに、支援制度を活用できるように手を差し伸べ、企業の成長を後押しすることが重要であると考えている。



小矢部版いきいき100歳プラスワン体操

◎公共施設再編について
◎元気なまちづくりについて



藤本 雅明 議員

質問 少子高齢化と人口減少社会が本格化していく中で、多くの施設が一齐に老朽化の問題を迎えている。今後どのようなスケジューリングで公共施設の再編、再配置、長寿命化を進めるのか。

市長 現在、公共施設再編計画の策定に向けた作業を進めており、施設類型等ごとに再編の内容と概ねの取り組み期間を定める予定としている。計画の進捗状況については、行財政改革推進本部等において確認・検証をし、必要に応じて見直しを行いたいと考えている。維持継続すると判断した施設については、個別施設計画を策定し、施設の長寿命化を推進する考えである。

質問 平成28年6月議会で、「公共施設の使用料については適正な見直しが必要」という趣旨の答弁があったが、今後どのように見直しを進めていくのか。

総務部長 施設の使用料の調査については、施設を管理する担当課のヒアリングを実施し、近隣自治体の類

似施設などと比較を行いながら見直しの検討を進めているところである。今後、行財政改革推進本部において協議を行う予定としており、必要なものについては、来年の4月から見直しを図りたいと考えている。

質問 積極的な健康づくりの取り組みを後押しするために、検診受診や、イベントに参加することなどにより、ポイントを付与する仕組みを導入できないか。

民生部長 先進地では商店街の商品券、特産物などの特典を用意し、健康づくりを通して地域全体の活性化に繋げる工夫をしており、先進地の例を参考にしながら、呉西6市での協議とともに、本市においても組織横断的に検討会を開催し、健康ポイント制度の実施に向けて検証していきたい。



使用料の見直しが検討されている公共施設

◎小矢部市の現状と課題
◎機能別消防団について
◎稲葉山について



石田 義弘 議員

質問 本市の最重要課題をどのように考えているか。副市長の見解を問う。

副市長 ①人口減少問題に對しては、おやベルネサン又総合戦略に掲げた事業を推進することが重要である。②アウトレット開業効果の活用については、石動駅周辺整備事業との相乗効果を得られるよう、まちなかの賑わいづくりに向けて着実に取り組む必要がある。③公共施設の再編に着手し、取り組み、人口減少や世代構成の変化に柔軟に対応し、持続可能な公共サービスを提供していきたい。

質問 本市が目指す機能別消防団員* 制度の内容とその実施時期について問う。

総務部長 一般消防団員の補助的活動を想定しており、所属分団を決めずに、災害などの現場において、団長の指示のもとで、一般消防団員と連携してサポートするよう考えている。来々年4月1日から制度を実施できるように準備している。

質問 消防団員の確保や消

防団の機能充実のために、分団の統廃合や配置の見直しを行い、分団の規模を拡大するよう考えはあるか。

総務部長 機能別消防団員制度の導入は、現在の枠組みを大きく変えることなく、今の消防力を維持する観点から取り組もうとするものである。統廃合等については、この制度を検証し、段階を踏んで進んでいくものと考えている。

質問 飼育頭数の少ない稲葉メルヘン牛を、地域ブランドとして確立するための今後の施策について問う。

産業建設部長 島根県邑南町では、約200頭の出荷を全て町内で消費しており、あわせて、地元食材とのコラボしたメニューづくりに取り組んでいる。稲葉メルヘン牛においても、この事例のように、市を挙げての取り組みが必要になるだろうと考えている。



消防団員の訓練風景

一般質問

◎ゲリラ豪雨対応について
◎小矢部型稼げる農業について
◎アートハウス活性化について



山室 秀隆 議員

質問 8月に発生したゲリラ豪雨により、本町ガード下は冠水状態となり、走行中のメルバスが動けなくなるとの事案が発生したが、市民を安全に運ぶ市営バスの運行規則はどのようになっているのか。

民生部長 運行規則については、現在、本市では整備していないが、ゲリラ豪雨など突発的な自然災害時における乗客・乗員の安全確保を目的とした運行基準の整備について、今後、検討していきたいと考えている。

質問 小矢部型稼げる農業創造事業の一環として、圃場の土壌分析を行うとのことだが、食味と土壌との相関関係を調査し、PDCAサイクル*を構築し、稼げる農業となるよう継続的に改善を行うことが重要だと考えるが、今後のどのように取り組みを進めるのか。

産業建設部長 土壌分析は、おいしい米づくり等を目的として、土壌の分析・改良に取り組み生産者を支援するものであり、JAいなばに

委託して実施することとしている。市内全域520地点の土壌を調査し、その分析結果に基づき、効果的な肥料などの導入を科学的根拠で判断できるようにする。生産者が土壌分析を継続していくことで、土づくりから米の収量・食味成分を向上させ、所得の増加につながるものと考えている。

質問 アートハウスおやべを核とした、国内外を問わず幅広く作品を募集する芸術祭などを開館5周年目等に開催する考えはないか。

教育長 昨年、初めての全国公募展を開催し、来々年は受賞作家3人による企画展等を予定している。このような取り組みを含め、節目の年も意識しながら、本市におけるアートによる新たな文化交流を創り出す拠点としての役割を發揮していきたいと考えている。



アートハウスおやべ

*用語解説

「機能別消防団員」……能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員のこと。

「PDCAサイクル」… PLAN (計画)、DO (実施)、CHECK (評価)、ACTION (改善) の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、継続的な改善を推進するマネジメントの手法。

- ◎北朝鮮の国際法をふみにじる暴挙への対応について
- ◎国保の都道府県化に伴う国保税の軽減について
- ◎少人数学級の実現と教師の多忙化解消について
- ◎学童保育の延長保育の対応について
- ◎アスベスト・中皮腫被害の救済について



砂田 喜昭 議員

質問 国保に加入している18歳未満の被保険者1人につき約3万円の国保税が課税されているが、子育て支援のためにも、この分については一般会計から国保会計に繰入れ・充当を行い、18歳未満の負担軽減を図られるよう検討して欲しい。

民生部長 ご提案の件については、国等の財政支援がないことから、必要な財源を確保するためには、原則被保険者に負担を求めることになると考える。国保税の増額に繋がることが想定されるため、現段階では困難であると考えている。

質問 教員の多忙化解消に向け、部活動指導員の学校職員としての活用を検討、タイムカード導入の検討、事務機器の不足はないか、当局の見解を問う。

教育長 部活動指導員については、部活動指導員の報酬や勤務形態の事項を定めた規則等の制定や、人材確保に向けての検討を図り、早期活用を目指したい。教員の勤務時間の把握に

※その他、次の質問がありました。
「北朝鮮の国際法をふみにじる暴挙への対応について」ほか

については、今回導入する校務支援システムで把握することとしている。

事務機器については、通常時の使用では支障はないが、学習発表会等の行事前には、使用が集中すると聞いており、複合機の導入により、集中する使用時間の緩和を図りたいと考えている。

質問 放課後児童クラブの時間延長について、改善を図ってもらいたい。

民生部長 利用者等に、利用希望に関するアンケートを実施する予定としており、その結果を踏まえ、必要があれば来年度からの開設時間の延長を検討したいと考えている。併せて、指導員の確保を図り、延長に向けた人員体制も整えるなど、前向きに進めたいと考えている。



放課後児童クラブ

- ◎ねんりんピック富山2018開催記念バリアフリーディスクゴルフ富山大会 IN 小矢部について
- ◎歴史と文化のまちおやべについて
- ◎稲葉山レストランについて
- ◎アートハウスについて
- ◎庁舎耐震対策について
- ◎安全で安心なまちづくりについて
- ◎市民活動について



嶋田 幸恵 議員

質問 来年のねんりんピックの共催イベントとして、バリアフリーイベントとして、ゴルフの開催打診が来ていると聞いている。また、今年、そのプレ大会が小矢部市で開催されると聞いているが、その要旨について伺う。

民生部理事 本大会に備えたプレ大会として、11月に石動小学校において、フライングディスクフェスティバルが開催される。60歳以上の人や障害のある人などが一緒に競技をすることで交流が図られるほか、多くのボランティアの皆さんが大会の補助をされることから、障害のある人等への理解が深まることが期待される。本市としては、この競技を普及するためにも大会を支援したいと考えている。

質問 災害時に備えた消防団の初動態勢のマニュアルについて伺う。

総務部長 現在、マニュアルは策定していないが、消防団員の活動については、小矢部市地域防災計画において、風水害の際の消防団

※その他、次の質問がありました。
「歴史と文化のまちおやべについて」ほか



バリアフリーディスクゴルフ

活動などを規定している。これらに基づくマニュアルの策定については、先進自治体の事例も参考にしながら、消防団や関係機関とともに検討していきたい。

質問 市民活動を行ううえで、食中毒や交通事故に対する懸念を持っているが、当局の見解を問う。

総務部長 市民の方々が直接関わる業務の中には、予期できない事故などが発生する可能性があり、市が実施する業務については、市民総合賠償保障保険に加入すること、団体などが実施する事業については、ボランティア保険などに加入するよう指導している。万が一、事故などが発生した場合には、発生原因などについて市内部で情報を共有し、今後の安全対策に役立てるよう対応している。

- ◎クロスランドおやべと健康づくりについて
- ◎企業誘致の状況と小矢部インター周辺の開発について
- ◎スポーツ振興とまちづくりについて



加藤 幸雄 議員

質問 早朝にランニングのためにクロスランドおやべに車で行ったが、ゲートが閉められて中に入ることができなかった。ゲートを開放し、ランニング等の健康づくりのために有効活用してはどうかと考えるが、開放するとなるとどのような問題があるか。

教育長 深夜の車両等の暴走行為、ごみの散乱などのおそれがあったことから、午後10時半頃には施設する体制をとっており、近隣住民の生活環境を害することのないよう、引き続きゲート施設による管理を行う必要があると考えている。

質問 これから5年後には、東海北陸自動車道の付加車線が完成し、北陸新幹線は敦賀まで延伸し、本市の地理的優位性が増すが、第7次総合計画において、第2のフロンティアパーク構想をどのように考えているか。

企画政策部長 フロンティアパークの分譲完了にめどがついた暁には、新たな産業用地の確保について検討が必要になると考えている。新たな産業団地、産業用地の整備は、多額の事業費を要する大規模なプロジェクトとなることから、現在、策定を進めている第7次総合計画において整備計画を位置づけ、計画的に進めたいと考えている。



健康づくり目的の利用も多いクロスランドおやべ

質問 スポーツを通じた元気なまちづくりを推進するために、合宿施設やランニングコースを作るなど、周囲の環境を整備することが重要であると考えるが、当局の見解を問う。

教養委員会事務局長 市内では、サイクリングターミナルや寿永荘がスポーツ合宿で利用されているが、提案のあった施設については、建設費、財源、採算性の観点から難しいものと考えている。

一般質問

- ◎小矢部市の国民保護計画について
- ◎北朝鮮弾道ミサイルへの対応について
- ◎ポートピープルの対策について



中野留美子 議員

質問 北朝鮮の核開発やミサイル発射が頻繁に続く中、本市にミサイルの一部が落下、最悪、着弾する可能性もあるが、このミサイルから市民を守るための決意を問う。

総務部理事 市の責務として、攻撃等に対しては、法律等を踏まえつつ、市の国民保護計画に基づき、他の機関と連携協力しながら国民保護措置を的確かつ迅速に実施することとしている。万が一にも事案が発生した場合には、市の国民保護計画に基づき、確実に対応したいと考えている。

質問 現在、学校で行われている避難訓練の中で、北朝鮮弾道ミサイルに対する避難訓練を実施できないか。

教育委員会事務局長 現在、学校では、火災や地震に対する訓練は実施しているが、アラート発令による訓練は行っていない状況であり、避難訓練等の推進が強く望まれているところである。今後、校長会などを通じ、訓練の方法等について協議

していると考えている。

質問 北朝鮮で緊迫した状況が続いているが、難民が日本に渡ってくることを想定し、警察や自衛隊などと協力しながら、パトロールを強化するなどの対策を考えておく必要がある。この対策を少しでも早く始めていただきたいが、当局の見解を問う。

総務部理事 北朝鮮で有事が発生した場合の本市への影響や、そのために必要とされる備えについては、現時点では想定できず、どのような対策が必要か判断できない状況であるが、市民の安全を確保するために必要な措置を的確かつ迅速に講ずることができるよう、情報収集等に努めていきたいと考えている。



小矢部市総合防災訓練での弾道ミサイル想定訓練の様子

- ◎鳥獣被害対策について
- ◎メルヘンおやべブラッシュアップについて
- ◎縄文遺跡について
- ◎定住促進事業の効果を問う



吉田 康弘 議員

質問 本市の有害鳥獣対策は、イノシシの個体数を減らすことと、圃場を守ることを中心として制度設計されているが、限界集落ではイノシシの個体数を減らすことは難しく、制度設計の見直しが必要だと考える。当局の見解を問う。

産業建設部長 捕獲したイノシシの処理負担軽減に向けた対策をさらに進めるとともに、地元住民との連携を密にしながら対策の見直しを進めたいと考えている。

質問 駅前通りのにぎわい創出を目的に、メルヘンおやべブラッシュアップ調査を行っていたが、その結果を踏まえ、今後どのように取り組む予定か問う。

企画政策部長 報告書では、街路灯や歩道のフラワー設置など、22施策を提言として取りまとめている。中心市街地への誘客は、商工会や市民団体、商店街との連携や協力が不可欠であり、積極的に連携し、取り組みを進めたいと考えている。

質問 高床式建物の部材の



桜町遺跡 (桜町JOMONパーク)

教育長 桜町遺跡の活用を目指す市民活動グループとの連携による各種イベントの開催や情報発信の推進等により、まちの活性化に繋がっていききたい。併せて、国の重要文化財の指定に向けて速やかに作業を進めたい。

質問 定住促進施策の検証が必要だと考えるが、施策の成果と今後の展開について、当局の見解を問う。

市長 近年、毎年180人前後の転入者が助成金制度を活用しており、うち7割以上の人がこの制度によって移住を決めたと回答している。通勤の利便さ等をアピールし、石動駅の利便性や市民生活の質の向上等に努めていきたいと考えている。

質問 定例会や臨時会の本会議の会議録を小矢部市議会のホームページ上で公開しています。平成10年12月定例会以降のものから最新の会議録まで、全内容について閲覧することができ、発言者やキーワードなどからも検索できます。

会議録の検索と閲覧



小矢部市議会 会議録の検索と閲覧のページ
<http://www.kaigiroku.net/kensaku/oyabe/oyabe.html>



市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。
 (平成29年6月24日～9月4日まで)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員 (人)		視 察 内 容
		議員	随員	
29. 6.29	埼玉県坂戸市議会 (会派)	7	—	・ おやべ型1%まちづくり事業について ・ 三世帯同居推進事業について
8. 1	福島県二本松市議会 (総務常任委員会)	7	1	・ おやべ型1%まちづくり事業について
8. 2	広島県廿日市市議会 (会派)	5	—	・ 認知症あんしんネットについて

意見書（議員提出）

地方自治法第99条の規定に基づき、政府に対して意見書を提出しました。

道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の嵩上げ措置の継続に関する意見書

道路は、豊かな国民生活や活力ある産業、経済、社会活動を支える最も基礎的な社会資本である。

富山県では、北陸新幹線開業による効果を持続・深化させ、観光振興、産業・地域活性化の取組みを加速し、地方創生を実現するためには、地方の創意工夫を最大限に活かした地域づくりと地方への人の流れをつくるネットワークの形成が重要であり、東日本大震災を踏まえ、国全体としてのリスク分散による強靱な国土づくりを目指すうえでも、道路整備の一層の推進が極めて重要である。

このようなことから、住民生活の安心・安全の確保や地域経済の活性化に不可欠な地方の道路整備等を着実に進められるよう、道路整備予算の総額を確保することが必要である。

特に、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下、道路財特法）の規定による補助率等の嵩上げ措置が平成29年度で無くなり、国道や都道府県道、市町村道の補助率等が平成30年度から低減されることは、地方の財政負担の増加をもたらす、道路整備の遅滞を招くこととなり、その影響は重大なものとなる。

よって、国会並びに政府におかれては、地方における道路整備の現状とその必要性を十分認識され、道路整備のための安定的な財源を確保されるよう、次の事項の実現を強く要望する。

記

- 1 道路整備に対する国民のニーズが依然として高いことを踏まえて、必要な道路整備予算の総額確保を図ること。
- 2 道路財特法の補助率等の嵩上げ措置については、平成30年度以降も継続すること。
- 3 さらに、地方創生推進のために真に必要な道路整備については、補助率等を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 29 年 9 月 22 日

小矢部市議会議長 中西正史

（提出先：衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 国土交通大臣 内閣官房長官）

参議院議員選挙の合区の解消を求める意見書

日本国憲法が昭和21年11月3日に公布されて以来、今日に至るまで70年間、二院制を採る我が国において、参議院は一貫してその議員の選挙区を都道府県単位とし、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきた。

去る平成28年7月10日に憲政史上初の合区による選挙が実施されたが、意思形成を図る上での都道府県が果たしてきた役割を考えたときに、都道府県ごとに集約された意思が参議院を通じて国政に届けられなくなるのは非常に問題である。

また、投票率の低下や、選挙区において自派を代表する議員が出せないことなど、合区を起因とした弊害が顕在化しており、合区解消を求める声が大きなものとなっている。

もとより、「一票の較差」の是正は重要な問題ではあるが、人口のみにより単純に区割りを決定すれば、歴史的にも文化的にも政治的にも意義と機能を有している各県で集約された民意が参議院を通じて国政に届けられなくなり、「地方創生」の流れにも反することになる。

よって、国会及び政府におかれては、今回の合区による選挙はあくまで緊急避難措置として、公職選挙法の附則第7条に選挙制度の抜本的な見直しが規定されていることもあり、合区を早急に解消し、都道府県の代表が国政に参加することが可能な選挙制度を構築するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 29 年 9 月 22 日

小矢部市議会議長 中西正史

（提出先：衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 内閣官房長官）

議会事務事業評価とは…

議会として市当局と異なる視点から事務事業を評価し、今後の方向性を明らかにしようとするのが議会事務事業評価です。個別の事務事業の現状や課題等を共有することができるので、予算や決算を審議等する上でも役立っています。

平成28年度議会事務事業評価

8月21日の全員協議会において、市議会より市当局へ議会事務事業評価の報告書を提出しました。

今後 事務事業を見直す際の参考にするとともに各種施策の推進に向けて努力されるよう市当局に求めました。

総務常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成28年度 決算額	委員会評価
防災事業費	総務課	21,125	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線が聞き取りにくいという住民の声に対して、防災ラジオの導入等、多方面から検討を行い、問題の解消に努めること。 防災備蓄品の処分にあたり、防災訓練の際に単に住民に配布するのではなく、防災意識の高揚に繋がる工夫を行うこと。 全国各地で災害が発生している中、スピード感をもって防災計画の改訂にあたること。
定住促進対策事業費	企画政策課	65,503	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進対策事業の助成が転入の理由の大きな要因となっていることから引続き事業を推進すること。また、申請時のアンケートについても引き続き行い、転入者の動向を的確に捉えていくこと。
市有財産管理費	財政課	22,519	<ul style="list-style-type: none"> 普通財産の処分については、計画的に適正に行うこと。
交流推進事業費	企画政策課	10,481	<ul style="list-style-type: none"> おやべ光のまち創出事業について、イルミネーションの点灯による誘客にとどまらず、飲食の提供、グッズの販売等、収益の仕組み作りを行い、事業が有効的に継続できるようにすること。

産業建設常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成28年度 決算額	委員会評価
小矢部型稼げる農業創造事業費	農林課	34,467	<ul style="list-style-type: none"> 土壌分析と肥培管理、食味分析をひとつのサイクルとし、これを長年継続して実施することにより、美味しい米の生産体制を確立し、米の高付加価値化を実現することにより、若い世代の就農者の増加に結びつけること。また、購入した機器を活用し、ほ場のデータ化を行い、ほ場管理や営農指導の際に有効に活用するよう努めること。
牧野放牧管理費	稲葉山牧野	79,261	<ul style="list-style-type: none"> 稲葉山中長期ビジョン計画に着実に取り組み、さらなる生産性の向上を図ることにより、稲葉山牧野の経営健全化に努めること。
義仲・巴広域連携推進事業費	観光振興課	6,178	<ul style="list-style-type: none"> 「義仲・巴」広域連携推進会議に加盟する6県41団体との繋がりを、大河ドラマ誘致や観光振興のために活用するのみにとどまらず、市の発展に繋げるよう有効に活用すること。
道路台帳整備費	建設課	2,808	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理者として、占用物件を含めた道路台帳の整備に努めること。

民生文教常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	担当課	平成28年度 決算額	委員会評価
健康増進対策事業費	健康福祉課	48,600	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果を把握するため、数値目標について具体的に検討すること。また、検診結果に基づき、その情報を活用し、疾病予防と早期発見に努めること。
小学校教育振興推進費	教育総務課	20,148	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境整備については今後とも事業の継続が必要であるが、その成果についてももしっかり検証すること。
中学校教育振興推進費	教育総務課	26,693	<ul style="list-style-type: none"> 現行のスポーツエキスパート事業を引き続き充実させるとともに、国の部活動指導員の制度をしっかりと研究し、中学生の競技力の向上と先生の多忙化の解消を図ること。
図書館管理運営費	生涯学習文化課	31,937	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の管理運営については、市民ニーズに即したサービスの充実を図り入館者数の増加を図ること。また、ブックスタート事業などソフト事業の充実を図り、幼児期から本との触れ合いを増やすこと。
スポーツ振興事業費	スポーツ課	12,778	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック選手育成のため、積極的に選手育成と優秀な指導者の確保に努めること。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員
会審査の過程において、市当局に対し、
次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、近年、特に豪雨等による
自然災害が各地で多発していることか
ら、防災訓練の実施にあたっては、具
体的な対策、対応を念頭に有意義な訓
練となるように実施すること。

また、災害時の避難場所について、
避難所の適性度について調査し、必要
な対策を講じるなど災害発生時に市民
が安心して避難できる体制を整えるこ
と。

二点目は、「第7次小矢部市総合計
画」の策定にあたっては、市民の意見
を集約し、小矢部市の将来像である
「魅力・安心・充実 しあわせ おや
べ」を実現できるようにしっかりと議
論の上、立案すること。

産業建設常任委員会

一点目は、農地農業用施設災害復旧
事業について、人口減少や高齢化など

により集落として疲弊が進んでいる地
域に、災害があるたびに多くの地元負
担を求めることは、農地や農業用施設
の復旧の遅れに繋がり、農地の放棄や
山村の荒廃等が懸念される。今後、地
元負担の軽減を含めた事業のあり方を
検討すること。

二点目は、空き家対策について、今
年度実施した空き家実態調査では、平
成二十四年度に実施した前回調査と比
べ、空き家戸数が百二十一戸、約三十
パーセント増加している。空き家数の
増加に伴い、周囲に危害を及ぼすおそ
れのある特定空き家の増加も予想され
ることから、速やかに特定空き家の認
定を行い、周囲に危害を及ぼすことが
ないよう、所有者や管理者に対して適
正な維持管理に努めるよう指導を徹底
すること。

民生文教常任委員会

一点目は、大谷校区・蟹谷校区
統合こども園について、諸事情により
開園が当初計画より遅れるとのことだ
があるが、市民の負担が増大すること
のないよう、しっかりと検討するとともに
適時適切に事業を実施し、市民への周
知も的確に行うこと。

二点目は、ケーブルテレビの番組内

容について、以前は市内の歴史、団体
活動紹介、民話等の特集番組が放送さ
れていたが、最近はほとんど放送され
ていない。また、収録時期とかなりず
れている内容の放映が見受けられる。
視聴者の満足度を高めるためにも、放
送内容については、常にタイムリーな
番組放映や市民に関心の高い番組構成
となるよう、改善に努めること。

三点目は、婚活支援事業について、
市の定住促進、少子化対策や小矢部市
活性化に非常に有意義なものであるこ
とから、成婚実績を積み上げるために
も、近隣市と婚活支援交流も活発に行
い、広域的な事業を推進していくこと。

平成29年度 議長交際費支出状況

平成29年4月～平成29年9月（単位：円）

区 分	件数	金 額
1 慶弔・見舞費	15	181,800
① 御祝・寸志	2	25,000
② 激 励 金	8	75,000
③ 見舞・香典	5	81,800
2 協 賛 費	13	50,667
3 会費・懇談会費	10	81,406
4 そ の 他	8	47,544
合 計	46	361,417
平成29年度予算額		1,400,000
執 行 率		25.82%

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

12月定例会の日程(予定)

- 8日(金) 10時 本会議(提案理由説明)
全員協議会
- 11日(月) 議案調査日
- 12日(火) 議案調査日
- 13日(水) 議案調査日
- 14日(木) 9時 議会運営委員会
10時 本会議(代表・一般質問)
- 15日(金) 10時 本会議(一般質問)
- 18日(月) 10時 公共施設再編特別委員会
14時 民生文教常任委員会
- 19日(火) 10時 産業建設常任委員会
14時 交通対策特別委員会
- 20日(水) 10時 総務常任委員会
- 21日(木) 議案調査日
- 22日(金) 10時 議会運営委員会
委員長会議
- 13時 全員協議会
- 15時 本会議(質疑・討論・表決)

※オレンジ色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
(当日午後7時とその週土曜午後6時から再放送予定)
録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。
詳細については、市議会のHPをご覧ください。



閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

8月9日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

- 女性防災士を育成し、有事の際に力を発揮してもらうためにも、市から指導を行うとともに、研修等の充実を図るよう努めて欲しい。

- 機能別消防団員制度を導入するに当たり、若い人材を確保するなどしっかりとした体制づくりを行って欲しい。

産業建設常任委員会

8月4日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

- 稲葉山山頂カフェレストランが整備されると、稲葉山への来客の増加が見込まれることから、山頂へ向かう道路の整備を、計画的にスピード感を持って進めて欲しい。

公共施設再編特別委員会

8月9日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎本庁舎耐震対策研究会の活動報告について

本庁舎の耐震改修に関する研究のため、滑川市と黒部市への視察を行ったとの報告がありました。

◎(仮称)津沢夜高会館建設について(中間報告)

(仮称)津沢夜高会館建設検討委員会等の開催状況について報告がありました。

◎おやべ市民活動サポートセンター利用者との意見交換会での意見について

おやべ市民活動サポートセンター利用者と(仮称)石動コミュニティプラザ整備に関する意見交換会を実施し、聴取した意見の内容について報告がありました。

◎(仮称)石動コミュニティプラザ整備基本計画(改訂案)について

おやべ市民活動サポートセンター利用者との意見交換会により聴取した意

見を基に改訂を行った、(仮称)石動コミュニティプラザ整備基本計画(改訂案)について報告がありました。

交通対策特別委員会

7月13日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

なお当日は、市内の公共交通の問題点を把握し、公共交通の利便性を高めるために、石動駅と市営バスの現地調査を実施しました。



*所管事項について、委員から意見がありました。

- 市営バスの自由乗降区間をもっと増やせないか検討を進めて欲しい。
- 石動駅に小矢部市をPRするパンフレットや物産を充実させるよう努めて欲しい。
- 駅の工事が始まると、ロータリースペースが狭くなるのが予想される。渋滞しないよう十分対策をして欲しい。



民生文教常任委員会

8月4日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

- 太陽光発電等の再生可能エネルギーについて、新しい固定価格買取制度へ移行するためには、事業計画書を提出するなどの手続が必要であるが十分に認知されていないため、しっかりと周知を行って欲しい。

■ 会務報告

平成 29 年 6 月 24 日～平成 29 年 9 月 4 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
29. 6.24	議会報告会	・ 議会からの報告 ・ 市議会及び市政に関する意見交換	津沢コミュニティプラザ、農村環境改善センター
6.26	小矢部川中流水害予防組合議会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	特別会議室
6.26 ～29	平成30年度重点事業要望	・ 富山県出先機関 ・ 富山県庁 ・ 富山河川国道事務所	市内、高岡市 富山市
7. 3	平成30年度重点事業要望	・ 北陸農政局	金沢市
	庄川左岸地区用排水対策促進協議会総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	砺波市
7. 4	日中友好富山県地方議員連盟総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	富山市
7.10 ～12	平成30年度重点事業要望	・ 北陸地方整備局 ・ 国道交通省、農林水産省、総務省、NHK及び県選出国会議員等	新潟市 東京都
7.13	交通対策特別委員会	・ 現地調査 ・ 報告案件なし	石動駅 第二委員会室
7.14	主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、役員改選、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	津沢コミュニティプラザ
7.19	能越自動車道建設促進期成同盟会総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、役員改選、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
7.21	国道471号整備促進期成同盟会総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	南砺市
7.24	議会だより編集委員会	・ 第186号発刊について	第二委員会室
	全員協議会	・ 「ジャパンエキスポ・パリ」出展事業報告について他1件報告	第一委員会室
	国道359号改修促進期成同盟会通常総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	砺波市
7.28	利賀ダム建設促進期成同盟会総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
7.31	富山県日韓友好議員連盟総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	富山市
	県西部市議会議長会正副議長研修会	・ 氷見市潮風ギャラリー見学他	氷見市

■ 会務報告 (つづき)

年月日	件名	摘要	開催地
8. 2	東海北陸自動車道建設促進同盟会・東海環状道路建設促進期成同盟会 平成29年度合同定期総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	東京都
8. 4	産業建設常任委員会	・ 報告案件なし	第二委員会室
	産業建設常任委員会議会事務事業評価	・ 義仲・巴広域推進事業費他3事業	第二委員会室
	民生文教常任委員会	・ 報告案件なし	第二委員会室
	民生文教常任委員会議会事務事業評価	・ 健康増進対策事業費他4事業	第二委員会室
	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県市議会議員連盟臨時総会	・ 議事 議員連盟の解散について他2議案	富山市
8. 7	庄川・小矢部川改修促進期成同盟会総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
	岸渡川改修促進期成同盟会総会	・ 議事 平成28年度事業報告、歳入歳出決算、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
8. 9	総務常任委員会	・ 報告案件なし	第二委員会室
	総務常任委員会議会事務事業評価	・ 防災事業費他3事業	第二委員会室
	公共施設再編特別委員会	・ 本庁舎耐震対策研究会の活動報告について他3件報告	第二委員会室
8.21	全員協議会	・ 移動スーパーとくし丸の市内営業開始及び地域見守り活動に関する協定の締結について他2件報告	第一委員会室
8.22	砺波地方介護保険組合議定例会	・ 議事 平成29年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算(第1号)他1議案及び認定4件	砺波市
	砺波地域消防組合議会定例会	・ 議事 平成29年度砺波地域消防組合一般会計補正予算(第1号)及び認定1件	砺波市
8.23	砺波地方衛生施設組合議会定例会	・ 議事 平成29年度補正予算他1議案	高岡市
8.28	議会運営員会	・ 平成29年9月定例会について	第二委員会室
8.29	富山県市議会議長会臨時議会及び県知事との懇談会	・ 議事 会務報告、平成28年度歳入歳出決算報告及び平成29年度補正予算他3議案	市総合保健福祉センター

資料提供

編集後記

平成21年に策定された第6次総合計画も9年目を迎え、現在は、第7次総合計画の策定準備が進められているところです。

総合計画は、市の将来像を見据え、10年間の長期にわたる総合的な地域づくりの方向性を示す最も重要な計画です。

現在の本市を取り巻く状況を見てみると、人口減少や少子高齢化の進展、公共施設の老朽化、苦しい財政運営など、すぐには解決しがたい問題が山積していますが、これらの厳しい現実とも真摯に向き合いながら、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進していかなければなりません。

市議会としては、市当局とともに力を合わせて、本市の明るい将来に向け、全力で取り組んで参りますので、市民の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いします。

次回の「議会だより」は、平成30年2月の予定です。

(議会だより編集委員一同)